

えひめこどもの城で学ぶ 持続可能な企業活動と働きやすい環境づくり

働きやすい組織風土・環境づくりを学べる「えひめこどもの城」

少子高齢化社会の日本では、未来を担う子どもたちを心身ともに健やかに育てる環境作りが重要な課題となっています。このような中でえひめこどもの城は、子どもたちが遊びや交流を通して様々な体験活動を行うことにより、創造力や自主性、社会性、豊かな感性などを育むことができるよう、県立の児童厚生施設として、平成10年10月に開園しました。職員のほとんどが女性で、施設として働きやすい環境づくりにも取り組んでいます。

本プログラムでは、働きやすい環境づくりをテーマに、組織の安全・リスク管理について学ぶことができます。人気のアトラクション、ジップラインの乗車体験では組織のコミュニケーションの質が浮き彫りに！さまざまな体験を通して、組織風土や社員が働きやすい環境づくりとは何かを考える特別なプログラムです。

当プログラムを通して、SDGs目標「③すべての人に健康と福祉を」「⑧働きがいも経済成長も」「⑩住み続けられるまちづくりを」を学びます。



えひめこどもの城(イメージ)



レクチャー(イメージ)



児童館・こどもの城の施設

▶ならではポイント

えひめこどもの城は、18歳未満の子どもたちの健全な発達をサポートするための大型児童館です。令和3年にできたジップラインは子どもにも人気ですが、その安全管理やそれを担う職員の人材育成に着眼した特別なプログラムです。

▶プログラムの流れ・タイムスケジュール・メニュー等

●スケジュール

〔午前パターン 9:00~11:30 150分〕 駐車場からの移動時間を含む

9:10~10:00 あいさつ、レクチャー (50分)

- ・日本の子どもを取り巻く現状
- ・持続可能な社会のために企業ができたこと（働きやすい環境づくりを考える）
- ・こどもの城における人財育成のポイント

10:00~11:00 ジップライン装着場でのレクチャーと体験

(約60分、人数により増減)

- ・ジップラインとその安全管理（特に人材に着目して）
- ・利用方法説明後、ペアで装着・点検を行いジップライン体験
- ・ジップライン往復

11:00~11:30 振り返り (30分) *ふりかえりワークシートあり

- ・レクチャーおよびジップライン体験を通して学んだことの振り返り
 - ⇒心理的安全性が担保される職場環境とは
 - ⇒働きやすい職場づくりのためにできることは何か
 - ⇒企業が健全に発展するために何が重要か

オプション

- ・レストハウスでの昼食
- ・動物園、運動公園、森林公園でのプログラムとの組み合わせもおおすすめです。

■持参物・服装：筆記用具、動きやすい服装

* ジップラインを体験しますのでなるべく身軽な服装でご参加ください。



ジップラインの安全チェック



出発前最終確認



ジップライン (イメージ)

▶その他補足情報

- ・所要時間 約150分
- 設定時間：目安として
 - 午前 9:00~11:30
 - 午後 13:00~15:30
- 対応可能人員:10名~20名
- ・予約方法 問合せベース
- ・設定期間 2024年4月~2025年3月
- ・設定除外日月曜（休園日）、土日祝日、年末年始、GW、お盆、学校長期休暇期間、その他大型イベント実施日

▶交通アクセス

- 松山空港より車で約30分
- JR松山駅より車で約35分
- 松山観光港より車で約40分
- 道後温泉より車で約35分
- 大街道より車で約35分